



柿崎区地域協議会だより



発行：柿崎区地域協議会 事務局：柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-536-2211

地域自治推進プロジェクト ～地域独自の予算を導入～

■地域活動支援事業を

本年度いっぱい廃止

市長が掲げる「地域自治推進プロジェクト」の概要が、5月10日開催の第2回地域協議会で示されました。プロジェクトは、「地域のことは地域で決めて、地域で実行する地域自治の仕組みの強化を目指す」とされています。地域協議会は、その中で地域活動支援事業が本年度いっぱい廃止されることを課題と考えました。

■頸北地区地域協議会

合同市長懇談会を開催

頸北4区の地域協議会と市長との懇談会が、6月29日にユーロピアくびき希望館で開催されました。委員30人が出席し、「地域を元気にするために必要な提案事業の推進状況について」と、「地域独自の予算について」をテーマに意見を交わしました。

市長は、プロジェクトの推進にあたって「地域の声を聞く」「地域のお宝を探す」「地域の方向性・ビジョンを決める」ことをあらた

めて地域協議会へ求めました。今、地域協議会では、「地域活性化の方向性」の作成を進めています。

■令和5年度から

地域独自の予算を導入

8月22日に地域協議会会長会議が開催され、「地域独自の予算」の説明を受けました。新制度は令和5年度に導入し、地域協議会だけでなく地域団体も地域の活力向上に効果がある取組を提案することができそうです。また、市が補助金を支出して支援する場合の補助率の上限は10分の7です。

新制度導入に伴い地域活動支援事業は廃止されますが、同事業を活用してきた継続的な取組のうち、対象となる事業は令和5年度の補助率の上限を10分の10とし、令和8年度までに段階的に10分の7に見直していきます。

地域協議会では、本年度、事業を提案していただいた9団体に、地域活動支援事業廃止後の活動のあり方をアンケート形式でお聞きしました。結果は、①活動は

継続する ②事業規模は縮小する ③地域活動支援事業に代わる補助金を希望する ④財源不足は会費、参加費、寄付金、協賛金で賄うでした。地域協議会は、アンケート調査の結果を踏まえ、本年度採択した事業を地域活動と位置付けて、令和5年度予算に要求するよう総合事務所へ要請しました。要請を受けて、総合事務所では本年度だけでなく、過去に採択した地域活動支援事業も含め、団体の意向等を確認し、予算要求に向けた準備を進めています。

(委員 吉村 正)



市長懇談会では、2つのテーマで意見交換を行いました

柿崎空き家活かそうプロジェクトは計画から実行の段階へ

お住まいの町内で空き家に関するさまざまな公的支援制度を紹介したチラシが回覧されたと思いますが、見ていただいたでしょうか。

空き家には安心して売買等の取引ができる上越市空き家情報バンクや、移住者に空き家改修費の一部を補助する空き家定住促進活用補助等のさまざまな支援制度があります。このことを知ってもらい、「今までこういう制度があることを知らなかった。こんな良い制度があるならば空き家を〇〇してみたい」、「前々から良い空き家の物件がないか探していたが、この制度を活用してみよう」という人が一人でも増えることを期待して、プロジェクトで作成したチラシを回覧しました。

前回の地域協議会だよりでお知らせしたとおり、空き家プロジェクトは空き家の活用を促す公的な支援制度を地域の皆さんから広く知ってもらうために、情報発信に取り組むことにしました。チラシの回覧は、その具体的な取り組みとして初めて行った試みです。その他に、協力してもらえらる町内会長を通じて空き家の所有者にもお送りしました。さらに、チラシ以外の情報発

信手段についても検討を進めていて、今後、実施できるように計画したいと考えています。

情報発信の取り組みの他に、今、空き家プロジェクトで力を入れて取り組んでいることは、支援制度をより手厚く充実したものにできないかということと、移住や定住を希望する人に、住まいとしての空き家の情報をどのようにしたら分かりやすく提供できるかということです。そのために、こうした業務に携わっている行政の建築住宅課と意見交換会を行いました。意見交換会の内容が行政の業務に反映され、空き家の活用がもつと身近なものとして、



古民家カフェ矢代（妙高市）
ゆったりとした内装



山のホームサ（牧区）
お洒落なカフェ風の内装

皆さんから興味をもってもらえるように検討を行っています。

その他、移住と空き家の活用を推進するには何が必要かを検討するため、空き家を利用して移住した人から聞き取り調査も行っています。ご近所でお思い当たる人がいたら、ぜひ地域協議会へ情報をお寄せください。

立ち上げから2年経過して、プロジェクトはさまざまな取り組みを立案して実行する段階に入りました。地域の活性化を目標に、これからも委員一同頑張っていきたいと思えます。

（柿崎空き家活かそうプロジェクト委員会
委員長 蓑輪和彦）

今年度地域活動支援事業に採択した事業を紹介します

ドーム周辺花いっぱい事業 花つえの会 満田恵美子

5月26日、所狭しと並ぶ水タンク、ペットボトルなどの植栽用具、日々草の花植え開始。「ハイ、花」「ハイ、水」と声を掛け合い、プロ職人のような手際で花苗がきれいに植えられました。今、800本の日々草が見事に咲き誇っています。ぜひ見に来てください。花が喜びます。

かきざきドームは、新潟国体のハンドボール会場でした。「こんな田舎に花いっぱい素晴らしいドーム、地域の誇りなのですね」と、大会役員の声に奮起してスタートしたこの会です。地域活動支援事業の補助を受け12年になります。このボランティアは、4月から11月までの長期です。草取りと水やりが大変です。器用にカマを使つての草取り作業です。「おまん、元気になって良かったね」「今日の差し入れのキュウリの漬物どうするが」。こんな会話も楽しみです。草取りをすると花が「ありがとう」とほほ笑みます。花との一体感が最高の喜びです。「花に負けないで元気にいようね」が、後期高齢者会員の合言葉です。さあ、今日も花との会話を楽しみます。



がんばってきれいに咲いてね、と花植え



咲き誇る花、花の中の草取り

黒川黒岩ふれあい祭り2022 16ピース 中村和彦

8月14日、ふれあい祭りを旧黒川小学校グラウンドで開催しました。黒川小学校が閉校した10年前に第1回を開催し、そのときに埋設したタイムカプセルの掘り起こしも行いました。ステンレス製の容器に入った手紙やワインは、カビ一つ生えることなく完璧な状態でした。その中には、当時の小学生だけでなく保護者である私の封筒も入っており、「第1回のふれあい祭りのチラシや10年後の私への手紙」が入っていました。「10年続けると言つて始めたこの祭りはどうなっているかな？」と書かれています。

10年が経ち世の中は大きく変わってしまいましたが、地域のこの祭りに対する情熱は色褪せることなく、変化しつつも深まっていくように思われます。ある意味深化している気がします。また新しいタイムカプセルを埋め、10年後に掘り起こせたらいいなと言いながら、仲間と酒を酌み交わしている今日このごろです。

第1回 黒川・黒岩 ふれあい祭り
 黒川小学校 (黒川・黒岩地区協議会の学校) 開校記念 8月18日、19日 (雨天 25・26日) ところ 黒川小学校グラウンド
 ★夜店 ★ビンゴゲーム大会 ★ライブ
 池上 彰 講演会 (雨天決行) 8月19日(日) 午後5時より かしきざきドーム ¥500円

第1回ふれあい祭りのチラシ



雨の中のミュージックスターメイン

みんなの保育園を考える会 保育園を視察し本格的な協議へ

みんなの保育園を考える会では、6月4日に区内4保育園と、なおえつ保育園を視察しました。

なおえつ保育園は、令和元年度に古城保育園と中央保育園が統合し新しく整備された保育園です。施設の安全対策と保育の充実、システムやアプリ等の導入による保護者の利便性が図られています。一方、区内の保育園は、建設から40年以上が経過し老朽化も激しく、さらに園児数も減少しています。「景観や環境は素晴らしい」「地域に残したい」と、そんな声も聞こえる中、統合や併設という声もあります。

地域協議会は、視察結果を踏まえ「上越市保育園の再配置等に係る計画(第4期)」の策定に向けて、本格的に保育園のあり方の協議を始めました。さまざまな意見や思いがある中で、すべての声を取り入れることは難しいかもしれませんが、しかし、保育園に通う園児のためにも、保護者や地域の声を拾い、多様化する保育園へのニーズを把握しながら、今後の柿崎区にとってより良い保育園とすることを目標に議論を進めていきます。

(みんなの保育園を考える会)

委員長 小山慶

柿崎区地域協議会の主なうごき(令和4年7月~令和4年9月)

開催月日	実施項目	開催月日	実施項目
7月19日	第5回地域協議会 地域活動支援事業に代わる事業の令和5年度予算編成に向けた取り組み	8月25日	第4回地域協議会だより編集委員会 第47号の編集
7月19日	第3回地域協議会だより編集委員会 第47号の掲載内容について	8月29日	第6回みんなの保育園を考える会会議 委員会の今後の進め方等について
7月27日	第5回みんなの保育園を考える会会議 保護者等の意見聴取の方法について	8月30日	第20回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議 都市整備部建築住宅課と意見交換
7月29日	第19回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議 空き家活用推進の具体案の検討	9月15日	第7回みんなの保育園を考える会会議 懇談会の資料について
8月16日	第6回地域協議会 地域活性化の方向性の作成について	9月20日	第7回地域協議会 新市建設計画の変更について
8月18日	健康子育て部保育課との打合せ 保育園の再配置等の進め方について	9月27日	第21回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議 意見交換を踏まえた今後の取組について

【編集後記】

実りの秋を迎え、何かと忙しい季節となりました。また、新型コロナウイルスの感染も収まる心配がありません。健康には十分気をつけたいものです。

地域活動支援事業が今年度で終わり、令和5年度から地域協議会の活動においては、「地域の声を聞く」「地域のお宝を探す」「地域の方向性・ビジョンを決める」をテーマに活動してほしいと市長から話がありました。

地域協議会も、新しいテーマに向かって協議を重ね、市政に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。

最後に私ごとですが、4回目のワクチン接種が終わり、ホッとしているところです。

(箕輪 明男)

編集委員長 中村 誠

編集委員

白井一夫 武田正教
箕輪明男 蓑輪和彦
吉井一寛 吉村 正